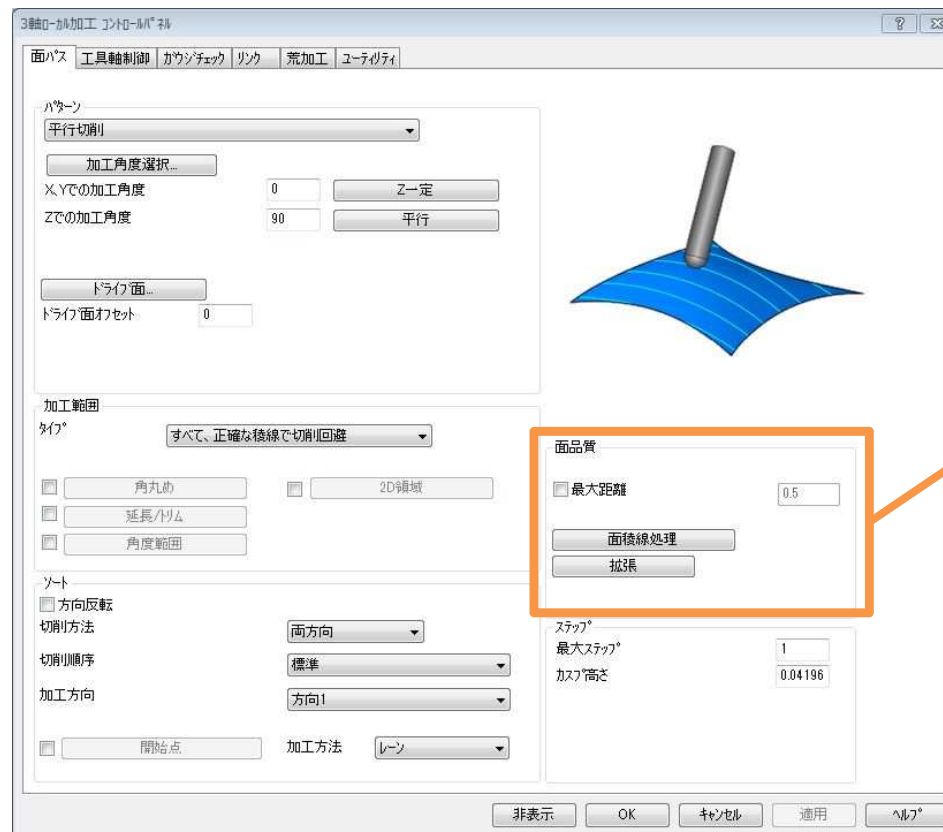


---

面パス\_面品質

# 面品質

- 加工後の面品質を向上させるための機能。



# 面品質

- ローカル 3 x の面品質は  
ドライブ面公差と面品質の最大距離で  
パスが大きく変わります。

パラメータ	値
動作パラメータ	
安全共通点と座標系	
公差とオフセット	拡張
面近似方法	公差による
ドライブ面公差	0.0100
ナック/ストック面公差	0.0100
工具軌道	アクセス
ストック	拡張
工具とホルダ	名前なし 0
加工パラメータ	
シオトリ	

面品質

☒ 最大距離 0.5

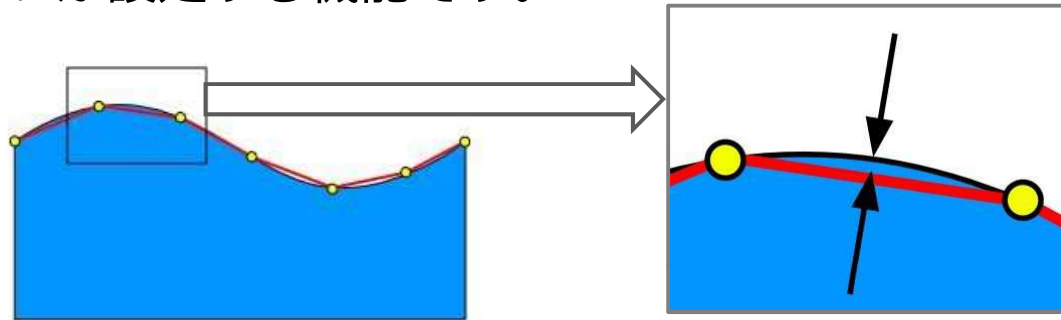
面稜線処理

拡張

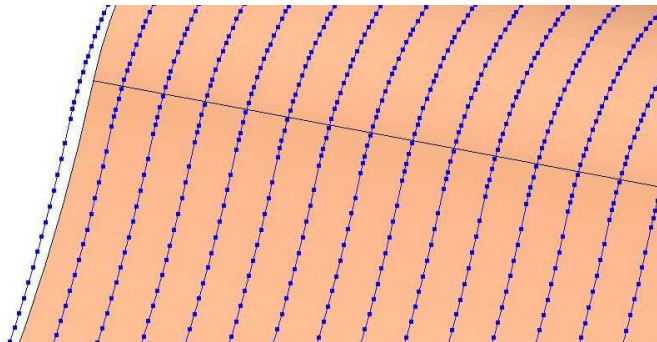
# 面品質

- ドライブ面公差

ドライブ面公差は作成されるパスとドライブ面との距離がどれくらい離れていいか設定する機能です。



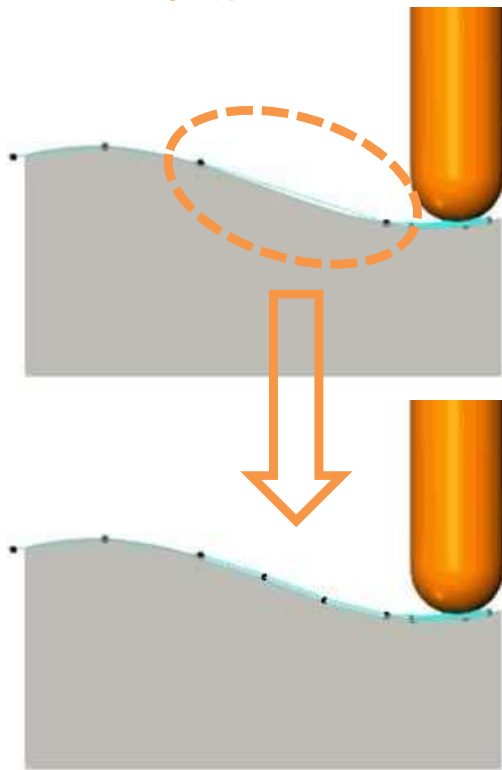
ただこの設定のみの場合面の曲率によって軌跡節が大きく左右されるため曲率変化の少ない曲面の際に軌跡節が大きく開いてしまうことがあります。



# 面品質

- 最大距離

軌跡節の距離が一定以上に大きくならないようにするための機能



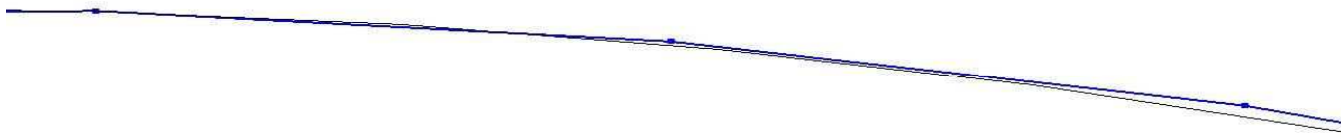
ドライブ面公差内のパスであっても曲率が大きい場合、軌跡節が作成されず面の品質が落ちてしまう場合があります。

最大距離を入れることによって軌跡節の距離が一定以上開かないように設定することができます。

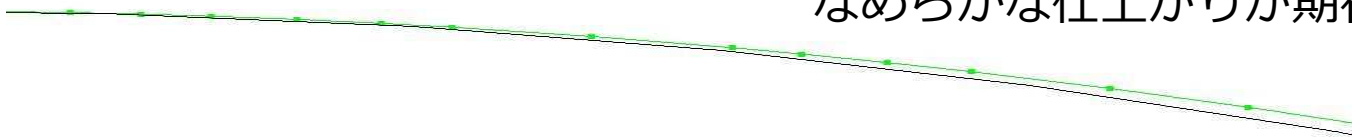
# 面品質

- ドライブ面公差と最大距離を併用した場合のパス比較

ドライブ面公差 0.01  
面品質/最大距離使用なし



ドライブ面公差 0.01  
面品質/最大距離 0.5



軌跡節面が多くなり  
面品質が向上する。  
なめらかな仕上がりが期待できます。

# 面品質一面稜線処理

---

- 面の稜線に対して品質をあげるパラメータ

## 面結合距離

離れている面の稜線距離が指定値以内の場合、  
結合面としてパスが計算されます。  
隙間のパスは直線でつながれます。

## 外部角出し稜線保持

ドライブ面に角がある場合、  
ループした接線のリードイン・リードアウトが追加されます。  
リンクの設定とは異なり切削送りになります。

# 面品質－拡張

- 面品質の拡張オプション

連続公差 — 軌跡節を作成する際に連続する節が一定以上細かく作成されないようにする設定

加工面公差を目安に 1 ～ 1 0 0 倍の数値を入力してください。

例)

ドライブ面公差：0. 0 1 → 連続公差：0. 0 1 ～ 1

ドライブ面公差：0. 0 0 1 → 連続公差：0. 0 0 1 ～ 0. 1

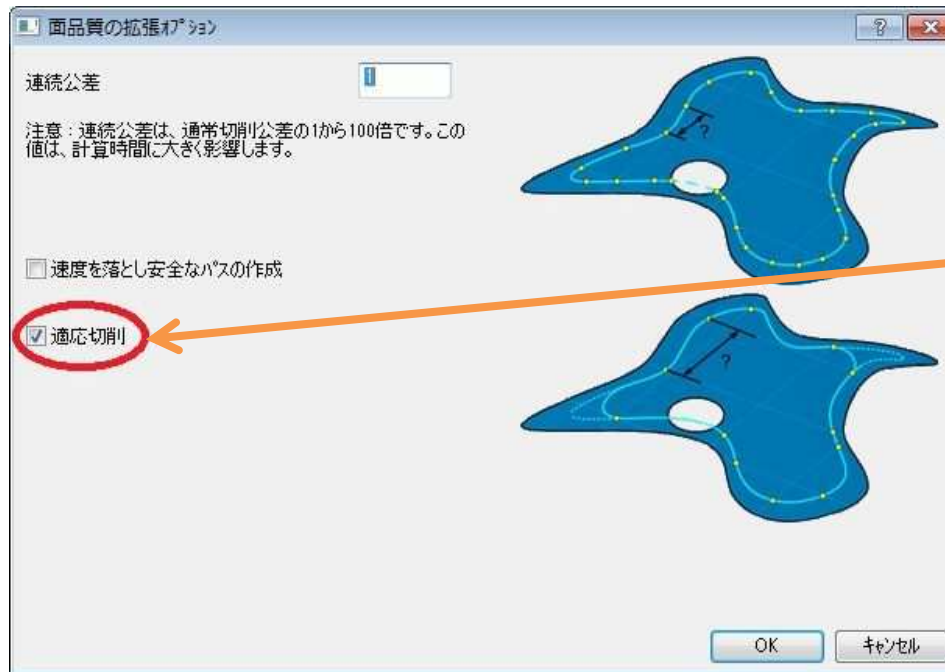




# 面品質一拡張

## ● 適応切削

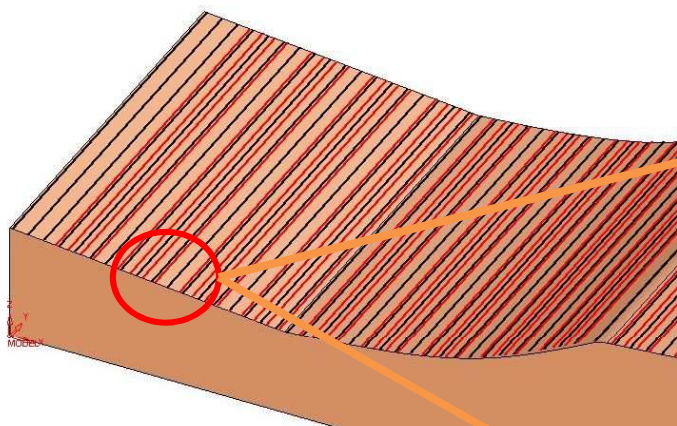
2曲線/面間、曲線/面に平行のパターンを使用した場合に使用できます。  
上記のパターンの使用の際にドライブ面の傾斜がきつい場合  
スライス間が伸びてしまうことがあります。  
こちらのチェックを入れることによりステップの精度が高くなります。



チェックを入れるだけで  
適応切削の設定になります。

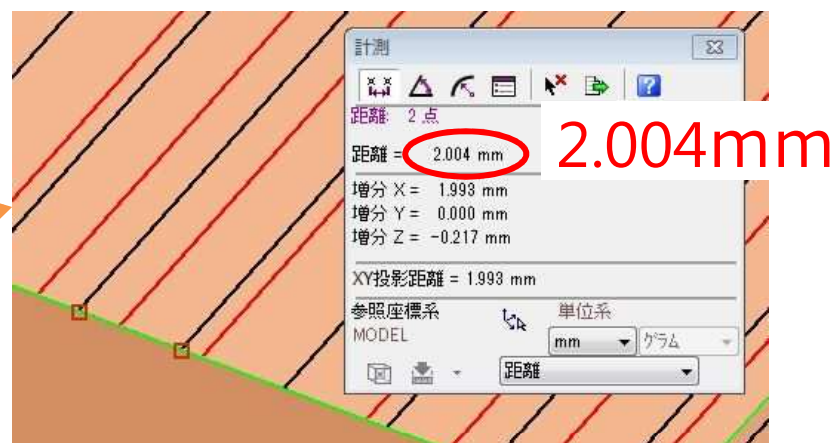
# 面品質一拡張

- 適応切削

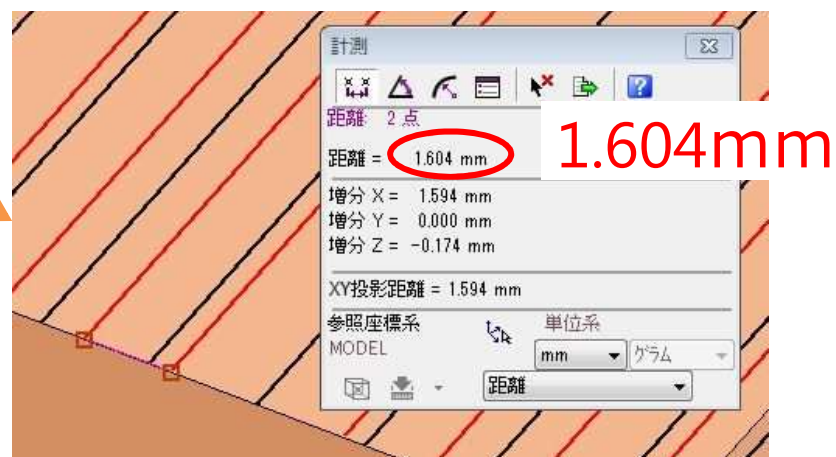


パスの間隔を計測しました。  
適応切削なしはステップ値を超える  
場合がありますが、  
適応切削ありの場合は超えないよう  
制御されます。

適応切削なしのパス



適応切削ありのパス



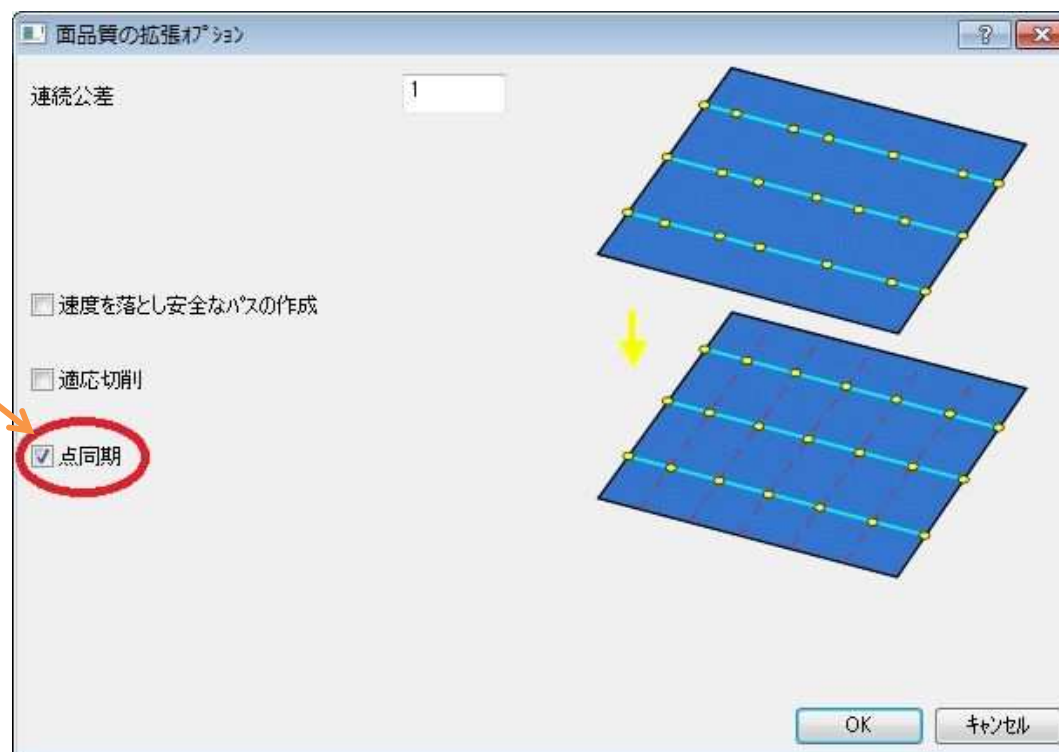
# 面品質一拡張

## ● 点同期

最大距離にチェックを入れた場合に使用できます。  
軌跡節の整列を行います。



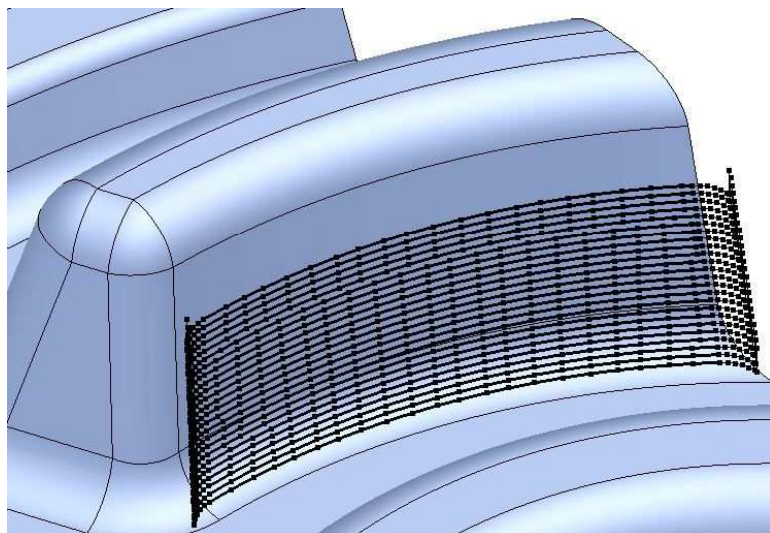
最大距離のチェックを入れると  
拡張の項目に増えます。



# 面品質一拡張

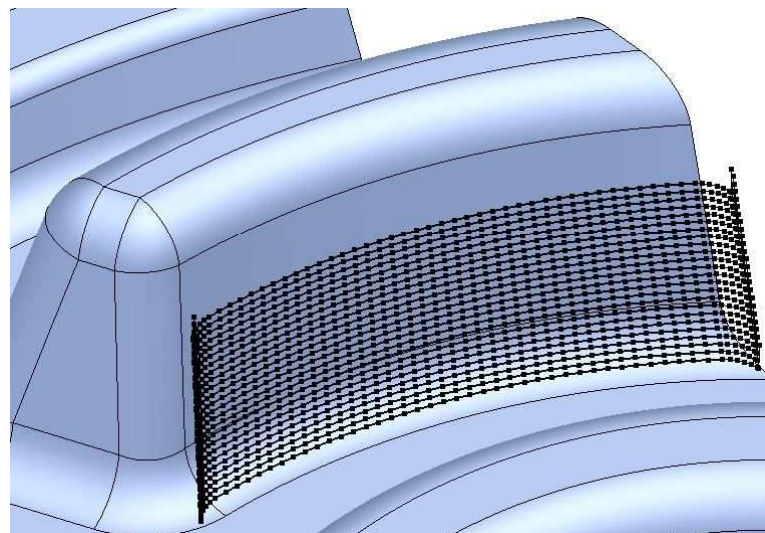
- 点同期

チェックなし



軌跡節は不均等ですが公差に倣った面の構成点で軌跡節が作成されています。（無駄の少ないパス）

チェックあり



軌跡節は均等です。最大距離倣った面の構成点で軌跡節が作成されています。